

## 初雪と新春寒波（協同組合通信/風雪弾） 15.1.16

師走に、気象庁は国際気象連盟（WMO）と歩調を合わせ、各地で昨年の平均気温が上昇したと発表し、新聞各紙で大々的に報道された。

良く見ると 11 月までの記録とあったが、温暖化の傾向の警鐘とはいえ発表は一年を通した方がわかりやすい。年末の冷え込みで数値もダウンしただろう。

直後の東京では、初雪が 5 cm 程度の積雪を伴う新記録となった。

関東を含む列島上空 5,500m 辺りの大気が、猛烈なシベリア寒気団におおわれ、修正後の 3 ヶ月予報と異なり、依然寒さが継続し十分冷え込んでいる。

新春寒波で各地の JR 各線の列車内に、故郷からの U ターンの帰省客が閉じ込められた。九州から東北に至る日本海側の高速道路では、故郷からのマイカー等の利用客に大雪が見舞い、恒例となった渋滞に拍車をかけ北陸を中心に多くの路線で通行止めとなった。

元旦と 3 日に小雪がちらつく正月 3 ヶ日を上京以来始めて体験し、寒気の中で一層気が引き締まった新春である。

経済の停滞は複雑な要因があるが、寒波は数年振りの大雪をもたらした良い事もある。全国のスキー場はシーズンの到来とともに滑降可能となり低調気味の利用客の呼びこみが叶い、恩恵を得たことだろう。ゲレンデで上手く滑るのは楽しかろうがなだれに注意し、くれぐれも道路でスリップしないよう最新の道路と気象情報をチェックし安全運転励行を老婆心で申し上げる。

平成も 15 度目の正月を迎え、新年の豊作と大漁及び無事息災を寿ぎたい。伝統的なお飾りや行事はめっきり減り、ゆとりが少なくなった。

一方、練馬から見渡す空気は清浄で、寒風に震えながらも夜空の星を眺めることができた。満天の星とはいかないが、物を想うには十分な冬景色を堪能した。

ちなみに、元日の各地の 12 時の天気と気温をアメダスで調べてみた。帯広 6.9 度曇、新潟 4.6 度晴れ、東京 5.0 度曇、京都 7.1 度曇、福岡 7.2 度晴れ、那覇 17.0 度晴れ。この時刻降水（雪）の地点はなかったが、日最高・最低気温差は約 36 度。

列島のこの温度差を活用し、経済活性化を捲き起こす画期的なビジネスを誕生させたいと初夢に見る。

（ 気象情報システム株式会社 高 津 敏 ）